

滑り抵抗係数 C.S.R 測定試験機

JIS A 1454、JIS A 1509-12に対応

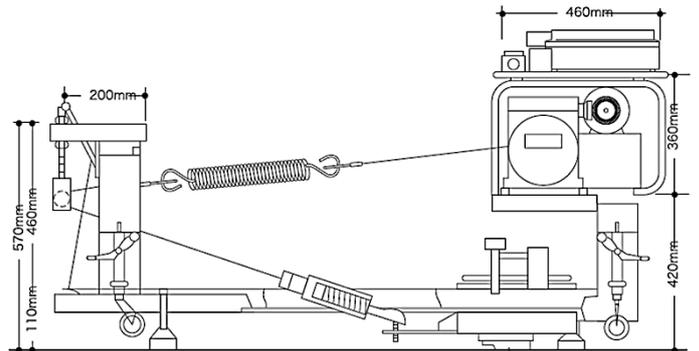


■ 測定の原理

床材の滑りにくさはすべり抵抗係数「C.S.R(Coefficient of Slip Resistance)」で表されます。C.S.R は以下の式で算出します。

$$C.S.R = \frac{P_{max}}{W}$$

C.S.R : 滑り抵抗係数
P_{max} : 最大引張荷重 (N)
W : 鉛直荷重 (785N)



人間の歩行感覚に対応した評価方法

フローリングや高輝度蓄光式避難誘導標識(床面設置用)など、高分子系張り床材の滑り性を、人間の歩行感覚に合わせて評価する試験です。

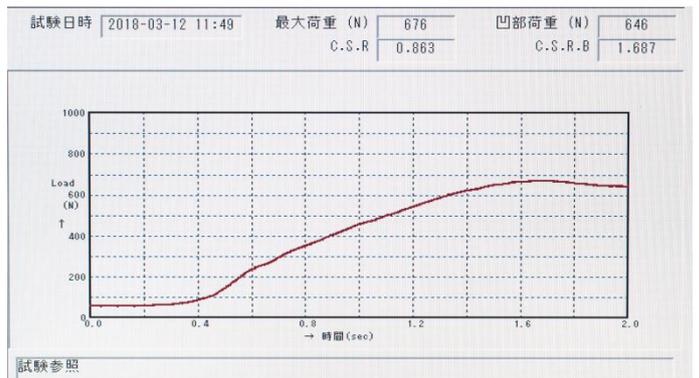
日本塗料検査協会では、株式会社安田精機製作所 O・Y プルスリップメーターを使用し、試験片上にある滑り片を、試験片に接触させた瞬間に規定の荷重速度で引張り、その時に得られる最大引張荷重を測定して滑り抵抗係数「C.S.R」を算出します。

■ 測定方法

滑り片を試料表面に接触させた瞬間に785N/secの引張荷重速度で、18°の角度で斜め上方へ引っ張りします。床材に設置させる滑り片には実際の使用時に想定されるものを用います。屋外など靴で歩行する床材試料にはゴム板を、屋内など靴下で歩行する床材試料には木綿靴下を用います。他にもスポンジシートなどがあります。

測定装置の主な仕様

| | |
|-----------|----------|
| 滑り片面積 | 80x70mm |
| 引張荷重速度 | 785N/S |
| 滑り片にかかる荷重 | 785N |
| 引張角度 | 斜め上方 18° |



滑りやすさの許容範囲

床の材料、または仕上げ材料は使用条件を勘案した上で、原則としてC.S.R が以下の範囲を満足することが望まれます。

| | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 0.5 | 0.6 | 0.7 | 0.8 | 0.9 | 1.0 | 1.1 | 1.2 |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 下足で歩行する部分 | | | | | | ← | → | | | | | | | |
| 上足で歩行する部分 (靴下等) | | | | | | ← | → | | | | | | | |
| 素足で利用する部分 | | | | | | ← | → | | | | | | | |
| 傾斜路部分 | | | | | | ← | → | | | | | | | |

← 許容範囲

